

令和 5 年 度  
(2023年度)

事 業 報 告 書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

# 特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

## 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

### 事業の成果

当会の活動の主軸である行政機関に収容され行き場を失った犬猫の引き取りや行政機関と協働で多頭飼育崩壊の案件に積極的に取り組んでまいりました。また、より多くの方々に対して、北海道、ひいては日本国内における犬猫の現状を、会報やインターネット等を通じて啓発し、人と動物が幸せに共生していく社会づくりに取り組みました。令和5年度は、新型コロナウイルスの行動制限が無くなったことから、イベントや集客を伴う行事を再開し多くの方がご来場くださいました。また、サステナブルな社会への取り組みとして「ペットグッズのリサイクル市」や犬とより良く暮らしていくために講習会や犬のしつけ教室も開催しました。

インターネット等で動物愛護と福祉の普及啓発にも努め、ユーチューブによる動画配信やフェイスブックやインスタグラム、X（旧ツイッター）も活発に情報拡散しました。また、2010年10月より平日毎日情報更新している「保健所情報ページ」をリニューアルし、より観やすくしました。

新しい飼い主を探す事業では、譲渡前の家庭訪問で脱走防止等の対策を行っていただき、安心安全に努めました。またペットと共生するための地域環境の保全事業では、野良猫に不妊手術を施す方々に対して助成金を交付することが出来ました。行政機関から犬猫を譲り受けた飼い主に不妊手術代の一部を助成する「行政機関譲渡犬猫不妊手術助成金事業」は7年目となり、行政機関から譲渡される犬猫たちに不妊手術代を助成することが出来ました。

その他の事業として、飼い主がやむなく飼えなくなったペットを有償で引き取るペットの預かり事業も行い、行き場のないペットの減少や共生社会の一助となるよう努めました。

### 事業の実施に関する事項

#### 特定非営利活動に係る事業

##### 1. 保護事業

行政機関やその他の行き場を失った犬猫を引き取って、新しい飼い主を探す事業では、犬25頭、猫25頭を引取りし、犬23頭、猫26頭を譲渡しました。令和5年度は、腫瘍や免疫不全、骨に異常がみられるなど負傷の犬猫の引き取りが多く、医療費も多額となりました。ですが、病院側でもボランティア価格にしてくださる等、ご協力くださり大変助かりました。

当会では、高齢や病気や怪我等のハンデのある犬猫たちも分け隔てなく平等に引取りしています。当会で長く暮らす保護犬猫も多く、老衰や病気が回復せず亡くなる犬猫もいました。亡くなった犬猫は犬が6頭、猫が10頭で、育つことが出来ずに亡くなった子猫5頭含まれていますが、

ほとんどが高齢の犬猫と病状が末期で引き取りした犬猫でした。

◆ 16年間の保護状況（2007年～2024年3月31日）

内訳	引取り数		譲渡数		引き取り後死亡数	
	犬	猫	犬	猫	犬	猫
2023年度	25	25	23	26	6	7
2022年度	67	37	31	32	14	6
2021年度	19	25	25	36	3	7
2020年度	76	36	67	36	13	6
2019年度	57	50	50	27	6	8
2018年度	57	39	48	37	8	4
2017年度	56	41	49	33	13	5
2016年度	68	72	64	58	14	12
2015年度	132	66	133	73	27	9
2014年度	110	76	88	60	22	9
2013年度	118	46	97	36	14	4
2012年度	129	29	99	40	13	4
2011年度	112	67	87	43	6	2
2010年度	110	81	95	62	8	7
2009年度	122	47	102	61	2	4
2008年度	181	98	157	69	5	6
2007年度	126	54	129	31		
犬猫計	1565	889	1,344	760	174	103
17年間計	2454		2,104		277	

※それ以前のボランティア活動では、2005年には36頭、2006年には86頭譲渡しています。

■健康管理状況

保護した犬や猫は、引き取り直後に動物病院で混合ワクチン接種、感染症検査、基本的な健康診断もしています。引き取り直後の健康状態を把握することで、病気の早期発見や予防に努めることが出来ています。また、麻酔による弊害など健康に問題がない限り、引き取りした犬猫に避妊・去勢手術を実施、同時にマイクロチップも装着、犬には狂犬病予防注射も接種、長沼町への畜犬登録も実施しています。これにより、病気の予防はもちろんのこと、安易なあるいは望まれない交配を完全に防ぎ、迷子や遺棄の防止にも役立っています。腫瘍や眼の異常、股関節に問題がある等、重度の障害を負っている犬猫には、大学病院や専門病院で手術や治療をしている他、犬の多頭飼育崩壊で重症の病気を抱えている犬が多い状況でした。

■飼育環境状況

猫舎や老犬・小型犬の犬舎は冷暖房が完備しています。また、犬舎は暖房と夏は風通しが良い

ので複数台の扇風機を設置して対応しています。感染症が発生すると犬や猫の福祉が損なわれるだけでなく、影響が広がることを避けるために消毒を徹底しています。また、保護時に既に猫エイズ感染症に罹患してる猫が多く収容保護猫の約6割を占めています。飼育環境を整え健やかな日常が送れるよう、また感染症に対する正しい知識を広めることや譲渡に向けて尽力しています。

年老いた犬猫や日常生活で介護が必要な子は、預かりボランティアの方に預かっていただくことで、生活のQOLが上がっています。

犬のしつけ教室を通じプロの訓練士による指導を受け、犬に対する理解と扱い方を学び、接し方等の飼育方法の改善に役立てました。しかし、咬傷犬で引取りした犬については、持って生まれた資質や人と信頼関係が出来なかった成育歴もあって改善には遠く長い時間を要しているのが現状です。

### ◆足長基金事業

足長基金は、高齢だったり傷病等のハンデがあるため、なかなか出会いがなく、健康な個体に比べてケアに人手も費用も多くかかる犬猫を対象にした基金です。令和5年度は、犬11頭、猫6頭が足長基金の対象となり、足長組を卒業し家族になった犬は2頭、猫は5頭でした。残念ながら亡くなった足長組の犬は6頭、猫は5頭いて高齢化も進んでいます。年度末現在、犬24頭、猫36頭が足長に加入し60頭を看ていますが、家族に迎えていただけることが目標です。FIV(猫エイズ)感染症が陽性の猫や慢性腎不全等で毎日の点滴や造血剤、下半身不随で圧迫排泄が必要な猫も多く、介護に要する時間も長くなっています。しかし足長基金により、病気や怪我でハンデを負った重症の犬猫も救え、医療も充分にかけることが出来ています。



### ◆終生預かり制度

家族の一員として大切に飼育され一生を終える犬や猫がいる一方で、日本では、毎年多くの犬猫が不要とされ殺処分されています。終生飼養の推進や不妊手術の徹底等、適正に飼育するよう行政では指導していますが、社会に適正飼育が浸透しておらず、犬の咬傷事故や多頭飼育放棄等、飼い主側の不適切な飼育が原因で放棄される犬猫は後を絶ちません。特に猫の多頭飼育崩壊は常態化しており社会問題にもなっています。反面、動物好きな高齢の方や、様々な事情から犬猫の

飼い主になれない方も多くいます。そして当会には、そういった方々に終生預かりとして対象の犬猫を見ていただきたい犬猫がいます。家庭で継続的なケアをしていただき穏やかに暮らして欲しいと願っています。そこで令和2年末から、「終生預かり制度」を開始し、令和6年3月末現在、対象犬猫を預かりしてくださる3名の預かりボランティアさんをサポートし、犬のブラッシュと北斗、猫はシロ、サファイア、秋子が、預かりボランティアさんの家庭で穏やかに過ごしています。

## 2. 動物の保護・愛護・福祉の啓発事業

動物の保護や愛護、福祉をイベントやインターネット及び自会の会報誌等、テレビや新聞、雑誌等のメディアを通じて、子どもや保護者等多くの方々に生命尊重を伝えました。

また殺処分はもとより、不幸な犬猫を減らしていくことを使命とし、広く啓発活動を行い理解と協力を求めました。

全国47都道府県のなかで唯一「動物愛護センター」が設置されていないのが北海道でしたが、当会が発起人となって「北海道にも”愛”のあるセンターを！みんなで北海道動物愛護センターをつくろう！プロジェクト」の運動を開始、令和5年4月26日、北海道動物愛護センター設置充実にかかわる署名を「北海道動物愛護センター早期建設を実現する会」代表の高橋徹先生(北海道獣医師会前会長)より北海道小玉俊宏副知事に92,541名のご署名を提出してまいりました。令和6年4月に北海道立動物愛護センター「あいにく」が開所いたしました。「人と動物が共生する幸せな社会」の実現に一步でも近づけますよう今後も尽力してまいります。

## 3. ペットと共生するための地域環境の保全事業

狂犬病などの人畜共通感染症の恐ろしさを伝え、飼い主に正しい飼い方やワクチン接種の重要性を、一般市民にも保健衛生の大切さを伝えました。野良猫と共生できる方法を伝え、飼い主のいない猫の保護と譲渡、保護主を支援しました。

「飼い主のいない猫基金」では、該当する活動グループに対し、野良猫の避妊・去勢手術代の一部を援助、飼い主のいない猫の活動周知に努めました。令和5年度は、340頭の飼い主のいない猫に不妊手術の助成金を交付し、令和4年度の421頭より81頭減少しました。減少した一因は、多数頭で申し込まれる方が前年より少なくなったためですが、飼い主のいない猫が増加しない施策として大きな成果を出すことが出来ました。一方で助成金を捻出するために「飼い主のいない猫基金」のご寄付を増やしていくことが常に課題です。また、飼い主のいない猫基金で不妊手術を行った猫たちの保護猫譲渡会は、宮の森のしっぽの会オフィスや札幌市動物愛護管理センター、その他の会場でも開催し、毎月実施しました。

行政との協働の案件では、天塩町でも犬の多頭飼育崩壊現場に引き続き係り犬たちの引き取りの他、飼育環境の整備も行いました。千歳市の元ブリーダーの案件では、石狩振興局や他団体と協働で取り組み、25頭の元繁殖犬たち全頭を救出することが出来ました。

また、長沼町のふるさと納税の還元で、長沼町民のペットに対して、猫16頭に不妊手術の助成を実施しました。

#### 4. 犬猫の避妊去勢の普及推進事業

当会では、麻酔等の健康上の問題がない限りは、保護した犬猫に不妊措置を行ってから譲渡しています。しかし旭川市動物愛護センターや札幌市動物愛護管理センター以外の自治体では、不妊手術の措置は行われずに新しい飼い主への指導での譲渡を行っています。ですが、北海道立動物愛護センターや道東、道北、道南でもサテライトの動物愛護センター運用が開始となりましたので、そこから譲渡となる犬猫には必ず不妊手術を実施していただきたいと思います。

社会から、行き場を失う不幸な犬猫を減らしていくには、不妊手術を施してから譲渡することが重要です。令和元年7月より、保健所や行政機関で犬猫を譲受された飼い主に対し、不妊手術の一部を助成する制度「行政機関譲渡犬猫不妊手術助成金事業」は、初年度の令和元年度にスタートした事業ですが、令和5年度は24頭の犬と129頭の猫の計153頭の申請があり、これまでに787頭の譲渡犬猫に不妊手術代の一部を助成しました。本来は犬猫を譲渡する元で実施出来れば、確実に行き場を失う犬猫は減少していきます。本州の行政機関では不妊手術を実施してから譲渡することはスタンダードなことです。北海道の行政機関に繋いでいきたい大きな事業です。

以上、飼い主のいない猫基金で340頭、行政機関譲渡犬猫不妊手術助成金事業で153頭、行政支援の事業では釧路保健所から譲渡になった野犬4頭、長沼町民支援の16頭の合計513頭となり、助成額は4,926,080円でした。令和4年の122頭の犬の多頭飼育崩壊のような案件はありませんでしたので、令和4年度より182頭少なく、令和4年度より、1,746,528円不妊手術等の助成金は減少しました。

#### 5. 動物福祉・愛護・トレーニングに係わる講習会開催事業

通年して(4~8月から修正)、月に2回程度ドックトレーナーを招き、犬のしつけ教室を11回開催、愛犬と飼い主がプロの指導のもと問題解決方法や積極的な飼育を学びました。譲渡した子犬も多かったことや早めのトレーニングが肝心ですので、卒業した子犬たちを含め延べ45頭が参加いたしました。講義内容は、ブログ等で紹介し、しつけトレーニングの重要性や、トレーニングを行うことで、飼い主との関係強化のみならず、犬の精神状態が安定するなどの犬の福祉の向上につながることを伝えられるよう努めています。

#### <その他の事業>

当会の保護活動は行政機関からの犬や猫の引取りが基軸ですが、少子高齢化、人口減少が問題となり核家族化が進み、飼い主の事情でペットを終生飼養できない等の相談も多くあります。そうしたことから、飼い主が飼えなくなったペットを有償で引き取り、新しい飼い主を探す事業とペットホテル事業も行いました。少子高齢化社会、核家族化等の社会的な背景により、需要が多くなることも考えられますが、行政機関に収容されている犬猫や多頭飼育崩壊、社会から排除されている野良猫等の命を優先する方向でバランスを取りながら事業を行っています。

## 【令和5年度 毎月の活動報告】

### 4月

- ・第1回犬のしつけ教室開催
- ・札幌市駅前通地下歩行憩いの空間北一条東「私たちにできること2023Spring」イベント
- ・ペットグッズのリサイクル市しっぽショップで開催
- ・第2回犬のしつけ教室
- ・宮の森しっぽ会オフィス保護猫譲渡会
- ・北海道動物愛護センター設置署名を北海道小玉俊宏副知事に提出
- ・北海道獣医師会主催狂犬病予防イベントに参加
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報春号62号発送

### 5月

- ・「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加
- ・第3回犬のしつけ教室
- ・長沼町のしっぽSHOPで割引セールを開催
- ・第4回犬のしつけ教室
- ・宮の森しっぽ会オフィス保護猫譲渡会

### 6月

- ・ゆにガーデン「第6回ベストわん！ライフフェスティバル」に参加
- ・第5回犬のしつけ教室
- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・第13回NPO通常総会を開催
- ・札幌市共催 保護猫譲渡会開催
- ・「第27回北の都札幌 ツーデーウオーク 札幌を歩こう」に参加

### 7月

- ・第6回犬のしつけ教室
- ・札幌市動物愛護管理推進協議会に代表出席
- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・留萌振興局・天塩町役場と天塩町の多頭飼育崩壊の現場視察
- ・宮の森しっぽ会オフィス保護猫譲渡会
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報夏号63号発送

### 8月

- ・北海道 道北実証事業のワーキンググループ会議に代表出席
- ・「2023やまびこ座夏まつり」に参加
- ・「みんなの笑顔がいちばんいいね！ Make A Smile Project」に参加

- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・「第9回みんなのMaMarche イベント」に参加
- ・「いしかりのチカラ祭り」参加
- ・宮の森しっぽ会オフィス保護猫譲渡会

## 9月

- ・「令和5年度空知総合振興局動物愛護週間パネル展」に参加
- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール開催
- ・第7回犬のしつけ教室
- ・宮の森しっぽ会オフィス保護猫譲渡会
- ・「動物愛護フェスティバル in えべつ」に参加
- ・2024チャリティアニマルカレンダー2種発売

## 10月

- ・～しっぽの仲間たち集合～第4回しっぽの会卒業わん同窓会2日間開催
- ・北海道道北実証事業のワーキンググループに代表出席
- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・臨時NPO総会を開催
- ・北海道日本ハムファイターズF VILLAGE HOKKAIDO BALLPARK イベントに参加
- ・北海道エコ・動物自然専門学校で保護猫譲渡会
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報秋号64号発送

## 11月

- ・北海道動物愛護会議代表出席
- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろオープニングセレモニーに参列
- ・しっぽの会ホームページ保健所情報一覧リニューアル
- ・第8回犬のしつけ教室
- ・「=人や社会に慣れていない=保護犬との暮らし方」講習会札幌市民プラザで開催
- ・宮の森しっぽの会オフィスで保護猫譲渡会開催
- ・第9回犬のしつけ教室
- ・道北ワーキンググループ会議に代表出席

## 12月

- ・公益社団法人アニマル・ドネーションの寄付先認定団体に認定
- ・「私たちにできること2023 Winter」札幌市駅前通地下歩行空間北大通交差点広場西で開催
- ・北海道獣医師会館落成式に参列
- ・留萌管内天塩町の犬の多頭飼育崩壊の現場視察
- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール



- ・第10回犬のしつけ教室
- ・宮の森しっぽの会オフィス保護猫譲渡会
- ・札幌市動物愛護管理センター猫の多頭飼育崩壊事案の協働プロジェクト開始
- ・認定NPO更新（2回目）と定款変更完了
- ・手稲新陵中学校で募金の贈呈式に代表出席

## 1月

- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・「能登半島地震被災犬猫支援金」を募金開始
- ・札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろと合同の保護猫譲渡会
- ・2023年の寄付金控除の領収証を発送
- ・札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろで「動物虐待対応に係るボランティア勉強会」に参加
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報冬号65号発送

## 2月

- ・石狩振興局 千歳市元ブリーダー多頭飼育崩壊案件に着手
- ・札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろと合同の保護猫譲渡会
- ・札幌市動物愛護管理センターあいまるさっぽろ共催一般社団法人ねこたまご保護猫譲渡会に参加
- ・宮の森しっぽの会オフィス保護猫譲渡会
- ・北海道 道南センターワーキンググループ会議に代表出席
- ・2024 NPO通信と年会費の振込用紙発送

## 3月

- ・しっぽの会猫舎面会自由な見学会&グッズ割引セール
- ・札幌市動物愛護推進協議会会議に代表出席
- ・宮の森しっぽの会オフィス保護猫譲渡会
- ・北海道立動物愛護センター「あいきた」開所式に参列
- ・北海道動物愛護推進協議会会議に代表参加
- ・第11回犬のしつけ教室

会報誌 年4回 1月・4月・7月・10月発行  
 足長通信 毎月末発行  
 正会員数 134名  
 サポート会員数 109名  
 ジュニア会員 1名  
 足長会員 320名